

2022年3月期第3四半期 決算補足説明資料



2022年1月31日
株式会社ミクリード
証券コード：7687

MICREED

- 3Q売上高は前年同期を大幅に上回り、4-12月累計でも前年同期比増収に転じた（売上変動の詳細はP.4参照） 営業損益も2Q累計（▲82百万円）から縮小
- 顧客数は、2Q時点の▲8.6%から▲1.4%まで回復。特に新規顧客数は2Q時点の▲15.0%から▲0.7%まで挽回

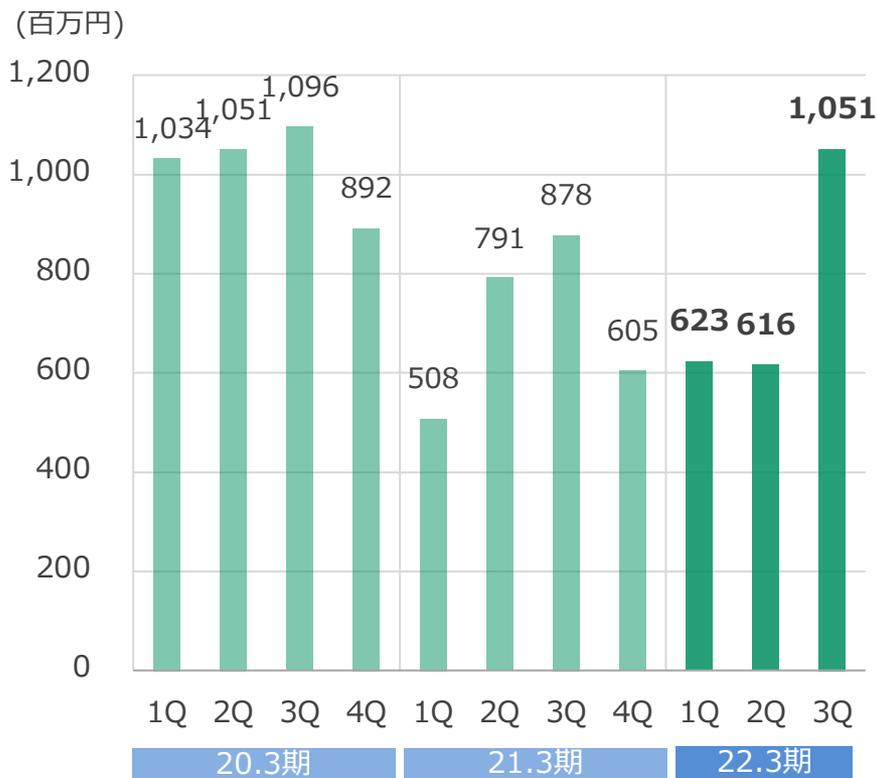
(百万円、%)

	21.3期3Q (実績)	22.3期3Q (実績)	(前年同期比)
売上高	2,177	2,290	+5.2
売上総利益 (総利益率)	739 (33.9)	772 (33.7)	+4.5 (▲0.2pt)
営業利益 (営業利益率)	▲72 (▲3.3)	▲35 (▲1.5)	—
経常利益	▲66	▲33	—
四半期純利益	▲43	▲21	—
顧客数 (※)	8,117	8,000	▲1.4
既存顧客数	7,138	7,028	▲1.5
新規顧客数	979	972	▲0.7

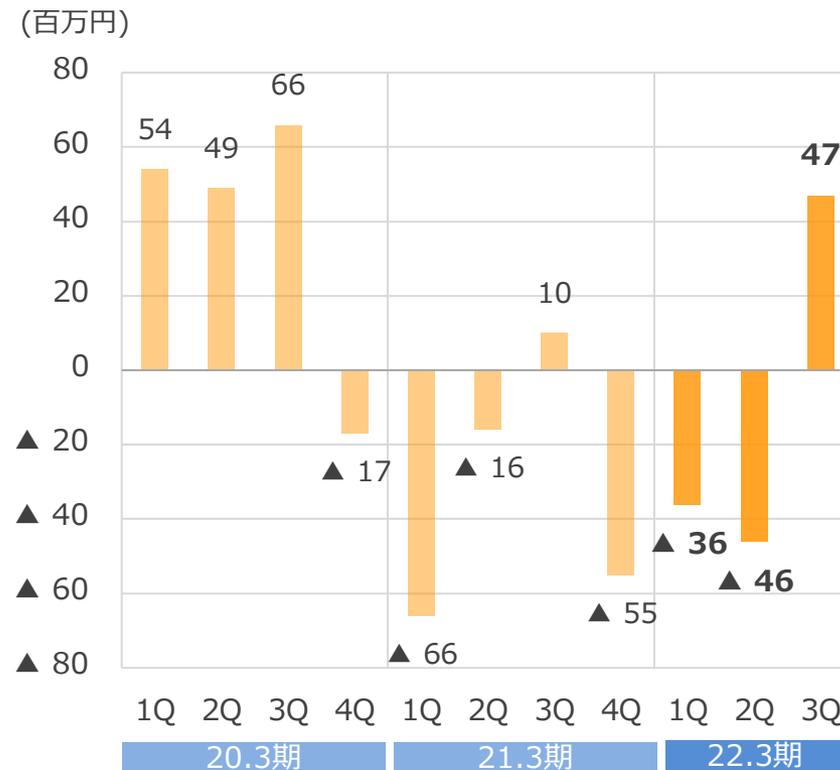
※ 顧客数は、各月の平均値を取っているため、四捨五入の関係で既存・新規の合計と一致しない場合があります

- 新型コロナウイルス感染者の減少、緊急事態宣言の解除により3Qの売上高、営業利益は大幅改善

売上高



営業利益

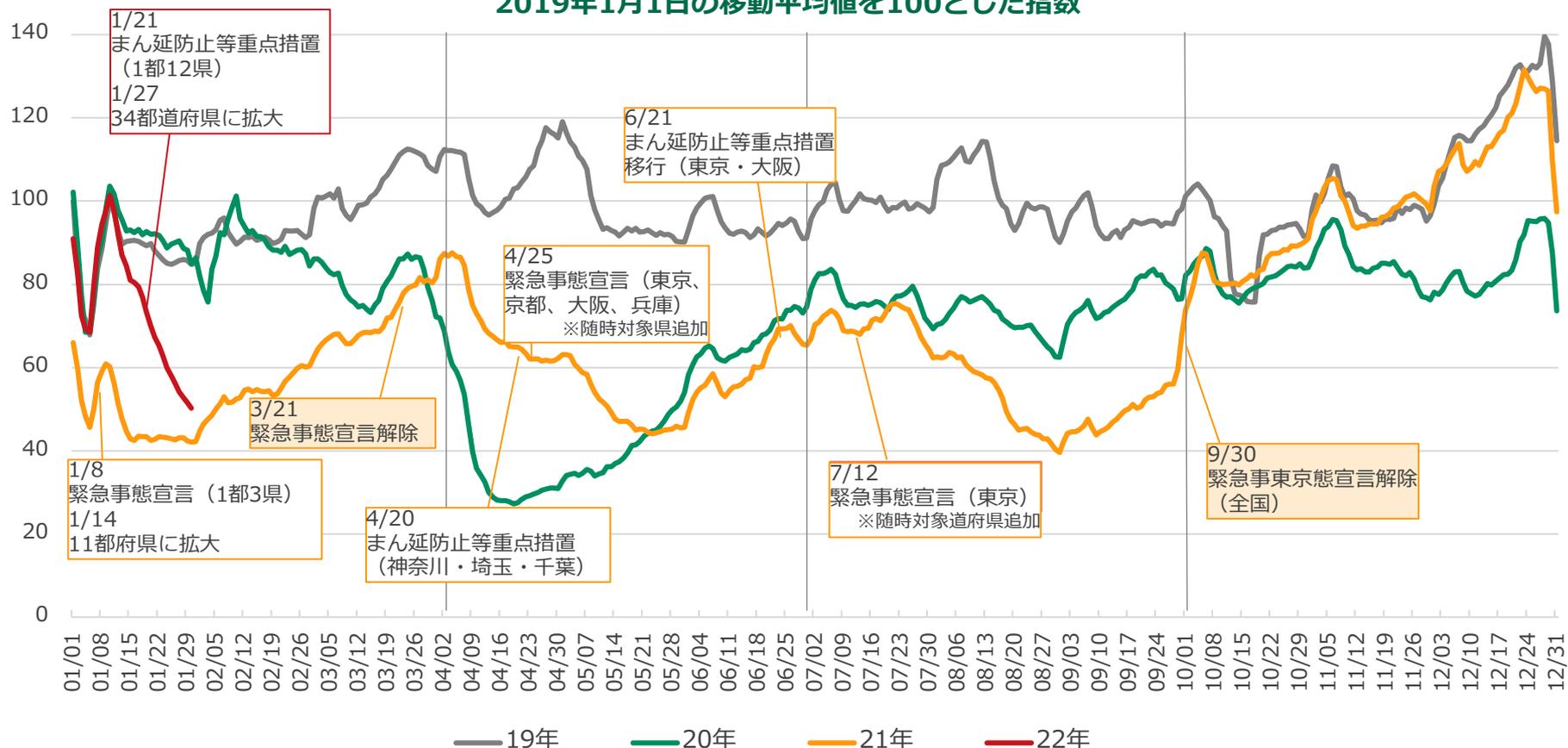


※ 2020年3月期の各四半期は金融商品取引法に基づく財務諸表は作成しておりません

- 東京においては3度目の緊急事態宣言下、酒類提供に厳しい制限が課せられ居酒屋の経営を圧迫、当社売上高も1Q後半から2Qにかけて前年を大幅に下回って推移
- 9/30の緊急事態宣言解除以降、3Qは前年を上回り書き入れ時の年末の売上も好調。コロナ前の20.3期（19年10~12月）並みの水準に迫っている

ご参考：日次売上高の推移（7日移動平均）

2019年1月1日の移動平均値を100とした指数



- 新型コロナウイルスは昨年末に向け一旦落ち着きを見せ、当社売上高もコロナ前水準に戻りつつある
- 一方で、2022年に入ると感染力の強い変異株による第6波で、再び感染者数が急増。現時点（1/31）で、多くの地域でまん延防止等重点措置が発出されており、消費者心理への影響も含め不透明な状況

当社業績見通しに関しては、依然として合理的な予測が困難な状況であるため、**2022年3月期業績予想および配当予想は未定**とし、今後、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします

新型コロナウイルスの今後の動向を注視し、顧客支援を継続しつつ、将来を見据えた各種施策には積極的に取り組んでまいります

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません